

近畿大学データサイエンス・AI リテラシー教育プログラム
自己点検・評価報告書

令和 5 年度

近畿大学自己点検・評価専門部会

(数理・データサイエンス・AI 教育プログラムリテラシーレベル)

目 次

●令和 5 年度近畿大学データサイエンス・AI リテラシー教育プログラム

自己点検・評価報告書

1. 専門部会の構成 P.2

2. 評価結果の判定 P.2

3. 評価結果 P.2

●参考資料

令和 5 年度後期データリテラシー入門授業評価アンケート結果 P.5

令和5年度 近畿大学データサイエンス・AIリテラシー教育プログラム
自己点検・評価報告書

「近畿大学データサイエンス・AIリテラシー教育プログラム」について、近畿大学自己点検・評価専門部会（数理・データサイエンス・AI教育プログラムリテラシーレベル）にて、以下のとおり自己点検・評価を実施した。

1. 専門部会の構成

部会長	仲林 真子	全学共通教育機構長
委員	渥美 寿雄	自己点検・評価委員会 委員長
委員	溝渕 昭二	情報学部 准教授
委員	山内 康弘	経済学部 教授
委員	田茂井 政宏	農学部 教授

事務局 大学運営本部 大学院・共通教育学生センター

2. 評価結果の判定

以下に示す4段階の評価基準で判定する。

S	達成度が極めて高い
A	ほぼ達成されている
B	達成しているが、やや不十分である
C	不十分であり、改善すべき点が多い

3. 評価結果

総合評価

評価：A

全体的にはほぼ達成されていると思うが、履修者数、履修率向上に向けた全学的な取り組みを行うべきかと思われる。また、成績低下の原因究明および対策も必要かと思われる。

1. 「プログラムの履修・修得状況」について

評価：B

履修率（収容定員に対する履修者数）について、2年分を合計すると9%程度になり前年度から+4%で、概ね目標は達成しているといえる。しかし、各学年での履修率は相変わらず低いことには代わりがないので、履修登録期間内のさらなるアナウンスが重要になると思われる。学部別では特に文系学部での履修率が低く、引き続き改善の必要がある。

2. 「学修成果」について

評価：A

昨年度より秀の割合は減ったものの、合格者の成績分布は極めて妥当である。学習到達目標に到達したと思う学生が71.2%との自己分析回答も含めて、学修成果はほぼ達成されていると思われる。一方で、実質的にリタイアと見なせる10回以下の出席学生が、昨年の30%から34%に上がっている点が気になる。継続させる試みを検討してほしい。

3. 「学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度」について

評価：A

履修者の8割近い学生が自分の知識や考えが深まったと感じていること、7割以上の学生が学習目標に到達したと感じていることは非常に評価できると思われる。学生が興味を持って取り組める学修内容になっていると思われるが、前年度よりいずれも低下していることから、原因究明と対策が必要だと思われる。

4. 「学生アンケート等を通じた後輩等他学生への推奨度」について

評価：B

「この授業を受けて良かったと思いますか」で8点以上の回答率が、昨年の75.7%から54.5%に低下している。これは明らかに有意な変化と見るべきである。G-KULeDの問題が影響している可能性はあるが、「講義において昨年と変わった点」を分析してみることが必要と考えられる。一方で、「全くそう思わない」という意見が昨年度よりも少なくなっている点は評価できる。

5. 「全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況」について

評価：B

年度ごとの履修者はほぼ横ばいであり、履修者数増加に向けた計画が効果的に進んでいるとは思えない。学部による温度差も大きいと思われることから、リーフレットなどを作成して全学的にアナウンスすることによって効果的に履修者数を増加させることが可能になると思われる。

6. 「数理・データサイエンス・AIを"学ぶ楽しさ""学ぶことの意義"を理解させること」について

評価：A

この授業への満足度が比較的高いことがまず挙げられる。次に、記述が少ないとは言え、自由記述欄の良かったと思うことに「有意義に議論できた」「交流できたのが特に良かった」「よい学びになった」のような、楽しさ、学ぶことへの肯定的な記述が見られるのに対し、工夫や改良が必要だと思ったことに、学ぶこと、楽しさ、に関する否定的記述が皆無であることから、この項目はほぼ達成されていると思われる。

7. 「内容・水準を維持・向上しつつ、より"分かりやすい授業"とすること」について

評価：A

「確認テストの難易度は適切ですか」の質問に「そう思う」以上の回答が75.4%を占めていること、「自分の知識や考えが深まりましたか」の質問に「そう思う」以上の回答が78.5%であることから、理解度に関しては現状で問題が無い。しかし、満足度（良かったと思うか）が、昨年度に比べて低下傾向にあることから、より分かりやすい授業を目指して分析と改善を行っていくことが重要と思われる。

令和 5 年度後期 データリテラシー入門 授業評価アンケート結果

●アンケート実施期間 令和 6 年 1 月 15 日(月)～1 月 28 日(土)

●アンケート回答率

	対象者数	回答者数	回答率
R4 後期	1,756	206	11.7%
R5 前期	49	16	32.7%
R5 後期	2,045	520	25.4%

※R4 後期は全学部開講に対し、R5 前期は国際学部と通信教育部にのみ開講。R5 後期は全学部開講。

●アンケート設問内容

<選択回答>

- 1) この授業を受けることで、自分の知識や考えが深まりましたか。
- 2) この授業を受けて、シラバスにある学習到達目標に到達できたと思いますか。
- 3) 質問や意見に教員は適切に対応してくれましたか。
- 4) あなたはこの授業に対して、1 週間で平均何時間、予習(授業時間を除く)をしていますか。
- 5) あなたはこの授業に対して、1 週間で平均何時間、復習(授業時間を除く)をしていますか。

※課題レポートや定期試験等のための勉強時間も計算に入れてください。

- 6) この授業を受けて良かったと思いますか。「普通」だった場合の評価は 7 です(いずれか 1 つ)
- 7) 動画を視聴する際、倍速機能は使用しましたか。

※機能を使用しなかった場合は、3(1.0 倍速)を選択してください。

- 8) 確認テストの難易度は適切ですか。

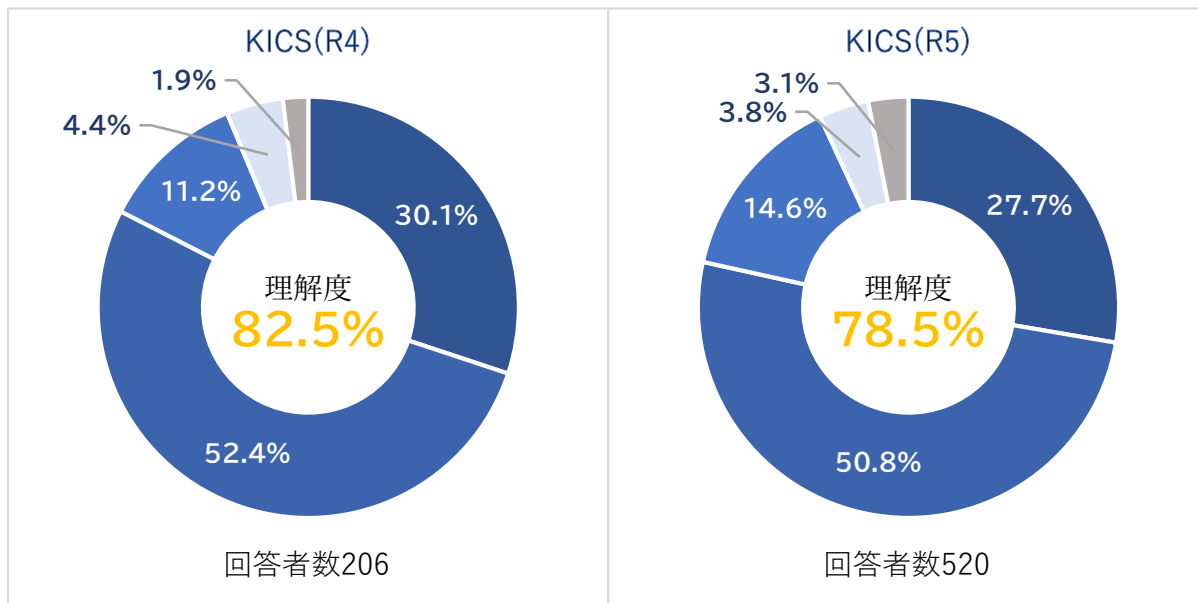
<記述回答>

- 1) この授業を振り返ったときに良かったと思うことを書いてください。
- 2) この授業でもっと工夫や改良が必要だと思ったことを書いてください。
- 3) その他(何かあれば自由に書いてください)

●アンケート結果＜選択回答＞

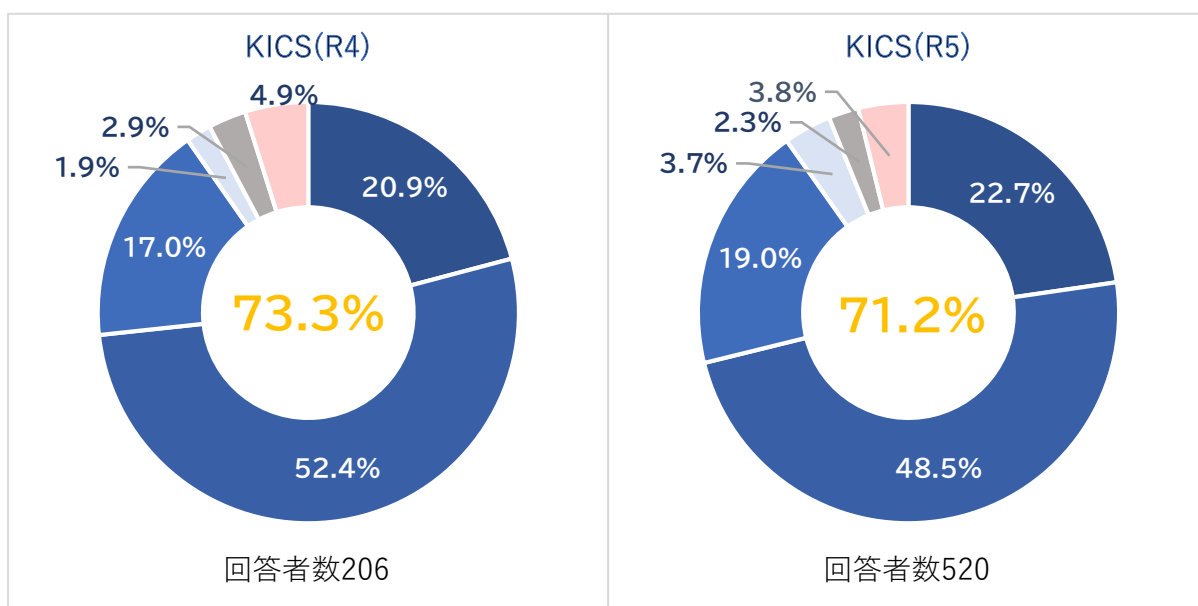
1) この授業を受けることで、自分の知識や考えが深まりましたか。

	非常にそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない
R4 後期	30.1%(62)	52.4%(108)	11.2%(23)	4.4%(9)	1.9%(4)
R5 後期	27.7%(144)	50.8%(264)	14.6%(76)	3.8%(20)	3.1%(16)



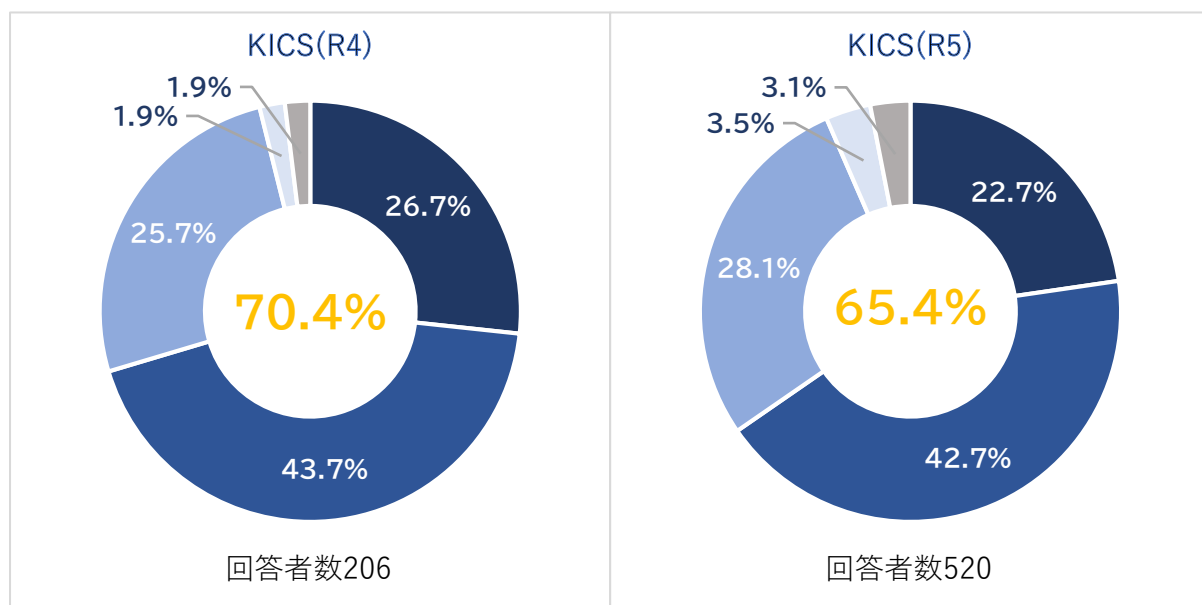
2) この授業を受けて、シラバスにある学習到達目標に到達できたと思いますか。

	非常にそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	目標を知らない
R4 後期	20.9%(43)	52.4%(108)	17.0%(35)	1.9%(4)	2.9%(6)	4.9%(10)
R5 後期	22.7%(118)	48.5%(252)	19.0%(99)	3.7%(19)	2.3%(12)	3.8%(20)



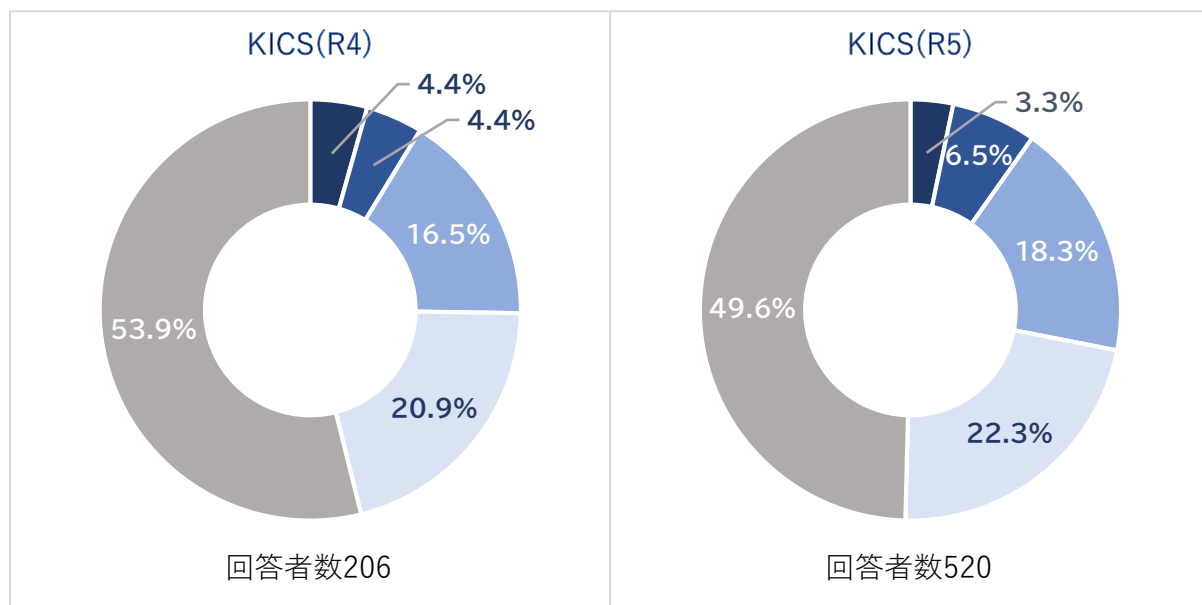
3) 質問や意見に教員は適切に対応してくれましたか。

	非常にそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない
R4 後期	26.7%(55)	43.7%(90)	25.7%(53)	1.9%(4)	1.9%(4)
R5 後期	22.7%(118)	42.7%(222)	28.1%(146)	3.5%(18)	3.1%(16)



4) あなたはこの授業に対して、1週間で平均何時間、予習(授業時間を除く)をしていますか。

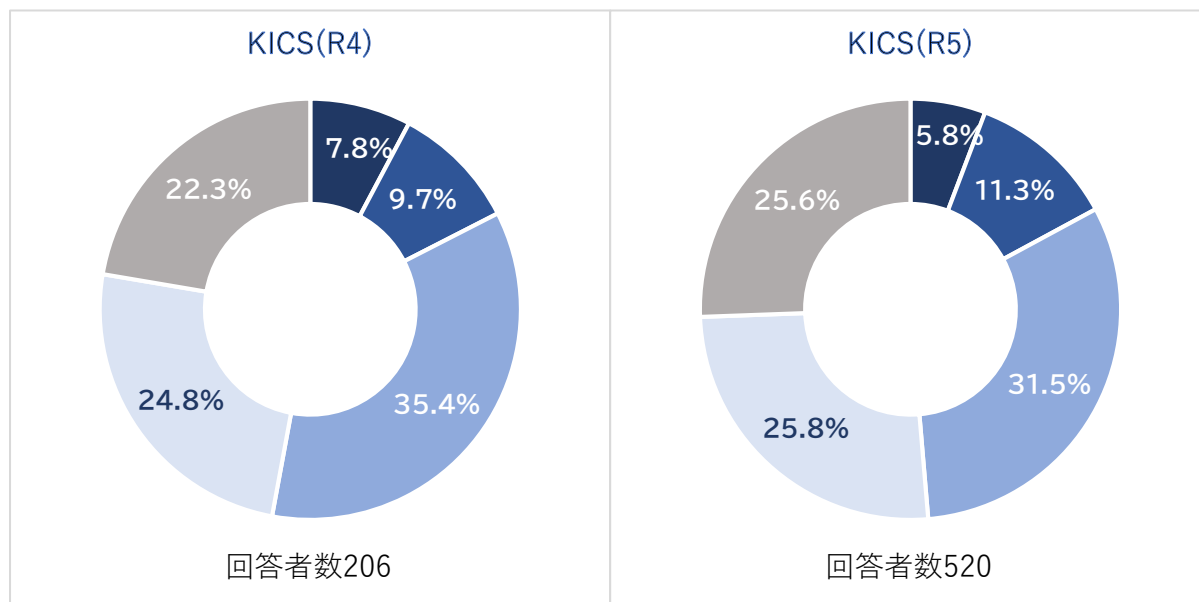
	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満
R4 後期	4.4%(9)	4.4%(9)	16.5%(34)	20.9%(43)	53.9%(111)
R5 後期	3.3%(17)	6.5%(34)	18.3%(95)	22.3%(116)	49.6%(258)



5) あなたはこの授業に対して、1週間で平均何時間、復習(授業時間を除く)をしていますか。

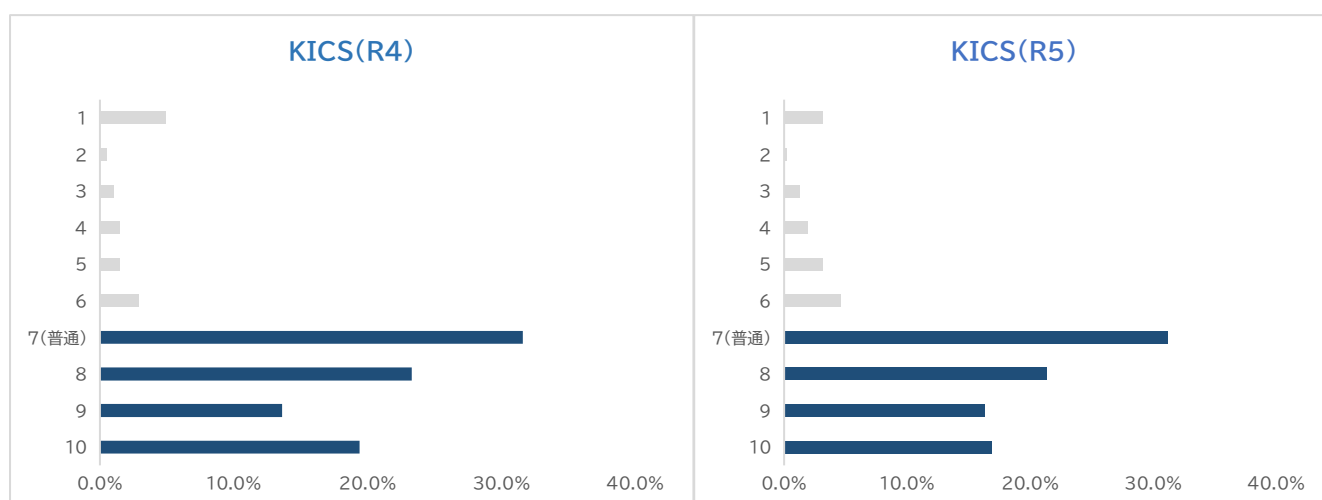
※課題レポートや定期試験等のための勉強時間も計算に入れてください。

	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満
R4 後期	7.8%(16)	9.7%(20)	35.4%(73)	24.8%(51)	22.3%(46)
R5 後期	5.8%(30)	11.3%(59)	31.5%(164)	25.8%(134)	25.6%(133)



6) この授業を受けて良かったと思いますか。「普通」だった場合の評価は7です(いずれか1つ)

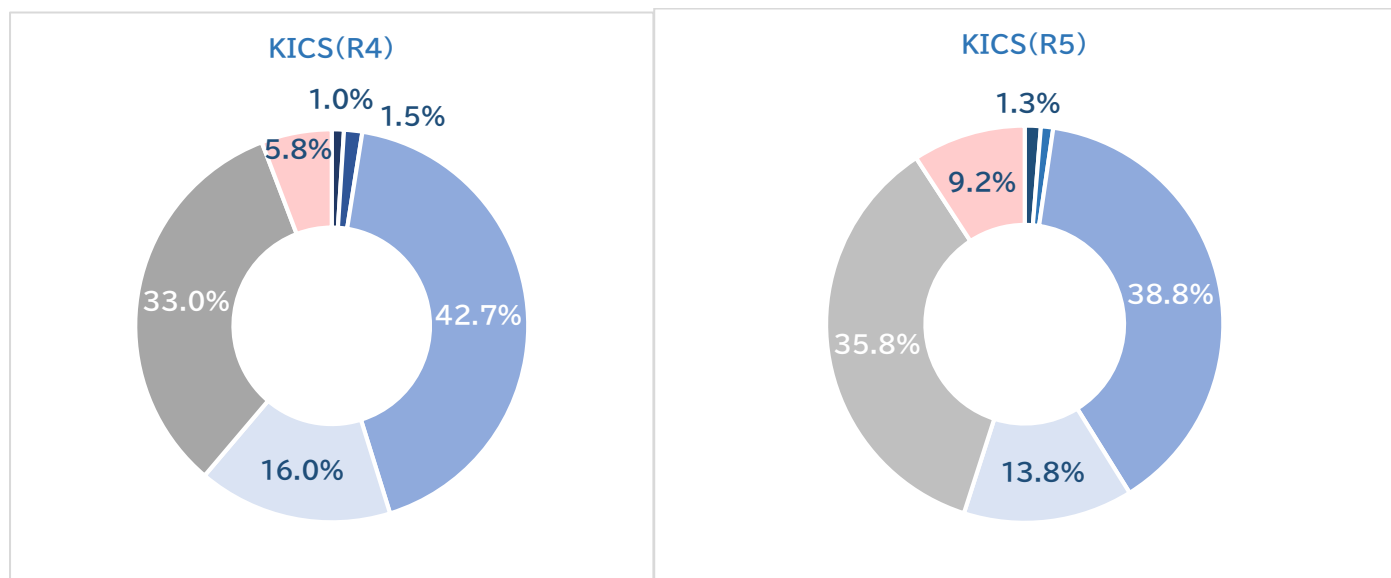
	10	9	8	7(普通)	6	5	4	3	2	1
R4 後期	19.4% (40)	13.6% (28)	23.3% (48)	31.6% (65)	2.9% (6)	1.5% (3)	1.5% (3)	1.0% (2)	0.5% (1)	4.9% (10)
R5 後期	16.9% (88)	16.3% (85)	21.3% (111)	31.2% (162)	4.6% (24)	3.1% (16)	1.9% (10)	1.3% (7)	0.2% (1)	3.1% (16)



7) 動画を視聴する際、倍速機能は使用しましたか。

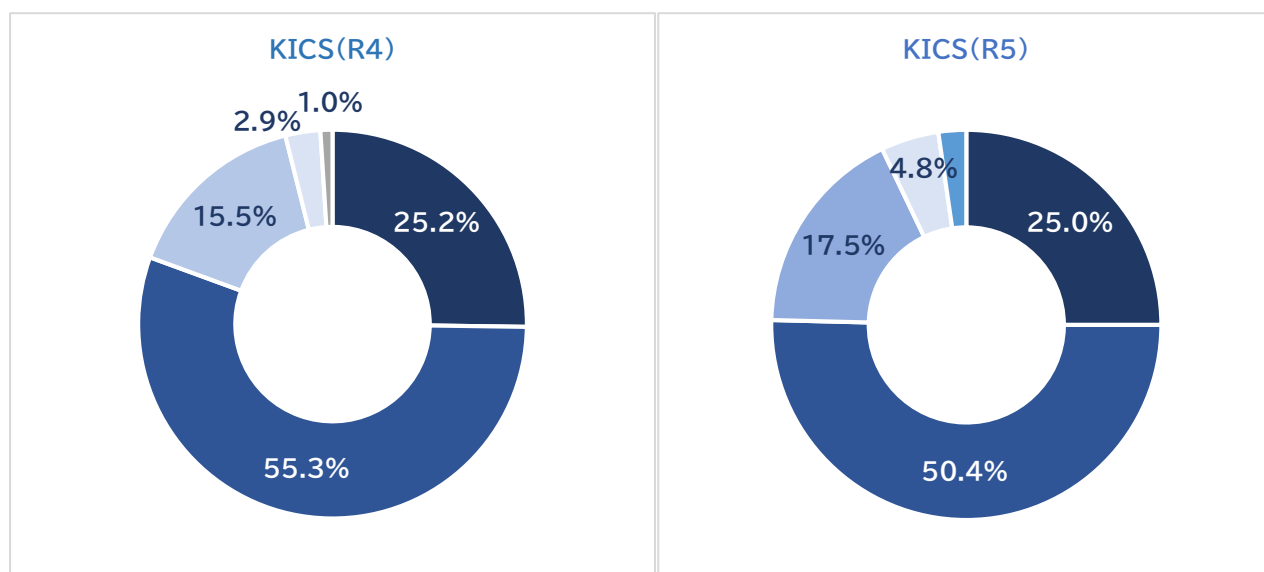
※機能を使用しなかった場合は、3(1.0 倍速)を選択してください。

	0.5 倍速	0.75 倍速	1.0 倍速	1.25 倍速	1.5 倍速	機能を知らなかった
R4 後期	1.0%(2)	1.5%(3)	42.7%(88)	16.0%(33)	33.0%(68)	5.8%(12)
R5 後期	1.3%(7)	1.0%(5)	38.8%(202)	13.8%(72)	35.8%(186)	9.2%(48)



8) 確認テストの難易度は適切ですか。

	非常にそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない
R4 後期	25.2%(52)	55.3%(114)	15.5%(32)	2.9%(6)	1.0%(2)
R5 後期	25.0%(130)	50.4%(262)	17.5%(91)	4.8%(25)	2.3%(12)



●アンケート結果＜記述回答・一部抜粋＞

1) この授業を振り返ったときに良かったと思うことを書いてください。

- ・基礎的な知識を身につけることができたのが良かった。
- ・授業の進め方がとてもわかりやすく、定着しやすかった。
- ・Google スプレッドシートを活用できるようになった。
- ・学生間ディスカッションで使ったサイトが分かりやすく、ほかの授業よりも有意義に議論できた。
- ・グループディスカッションなどで交流できたのが特に良かった。
- ・データリテラシーについて詳しく学ぶことができた。
- ・これから社会でパソコンを扱い、データを扱う機会も多くなってくると思うので、よい学びになったと思う。
- ・実際に映像で習ったことを自分で操作することで理解が深まった。
- ・アンケートや表計算の制作を実践できた。
- ・データを扱う上で注意すべきことがわかった。

2) この授業でもっと工夫や改良が必要だと思ったことを書いてください。

- ・KB マップの課題が重い。
- ・課題の意味がわかりにくいところがあるので意味のある課題をさせるようにしてほしい。
- ・単語を繋げる課題がどこに何個の単語が繋がるかわからず、難しかった。
- ・課題の出し方がわかりにくい。回によって違ったりするので統一してほしい。
- ・授業内でデータを取得して活用する機会が多くありましたが、その取得方法がスライドに表示された URL を入力してアクセスするというもので非常にやりにくかった。またその URL が途中で見えなくなってしまうものもあった。
- ・サイトの URL が機能していなかったり、講義内容通りに課題などが進めないことが何度か起こっていたりしたため、動画の手順と違うことが多く非常にわかりずらかった。
- ・後半の授業で Google スプレッドシートを扱っていましたが、課題が不適切であると感じた。データを他サイトからインポートする回数が非常に多く、効率的でない。
- ・授業の資料がダウンロードできないことや、間違っていることが多かったので、課題をするのにロスタイムがかかった。

3) その他(何かあれば自由に書いてください)

- ・動画で不自由な点がありましたがとても丁寧に対応してくださった。
- ・後半の Excel 課題で提示されたオープンソースが使用できないことが多く、手打ちする機会が 14 回目以外にもあったのでそのようなことが多いなら毎回クラスルームで配布したほうが間違いないと思った。